



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月6日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

コード番号 3202 URL <https://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長執行役員CEO (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 理事経営管理本部経理部長 (氏名) 松田 好司

半期報告書提出予定日 2025年11月6日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

TEL 03-6262-6565

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (％表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,919	4.0	132	22.9	36	50.7	31	17.1
2025年3月期中間期	2,000	6.2	171	20.4	73	27.4	38	21.0

(注)包括利益 2026年3月期中間期 67百万円 (8.5%) 2025年3月期中間期 73百万円 (17.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	1.06	1.06
2025年3月期中間期	1.28	1.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	20,188	4,892	24.2
2025年3月期	20,036	4,924	24.5

(参考)自己資本 2026年3月期中間期 4,885百万円 2025年3月期 4,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	12.0	370	17.3	160	31.2	100	82.0	3.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	30,360,000 株	2025年3月期	30,360,000 株
2026年3月期中間期	433,788 株	2025年3月期	333,713 株
2026年3月期中間期	29,955,023 株	2025年3月期中間期	30,063,758 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直す展開となるなど、引き続き緩やかな回復を続けました。ただし、米国の関税措置の影響や、記録的な猛暑が長引いたことなどが響き、自動車産業や秋物需要など一部業界で伸び悩みがみられました。また、物価上昇の継続が消費者マインドを下押しするリスクに加え、国内金融資本市場の変動、地政学的リスクなど国内外での様々な動向に注意が必要な状況でした。

このような中で、当社グループは中期経営計画「Jumping over the 130th ～成長の未来へ～」に基づく諸施策に鋭意取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、設備更新投資を順次実施していることによる償却負担増があるものの、市況は底堅く推移しており、地域住民やテナントのニーズに的確に 대응してきました。特に夏場は、邦画のヒット作に恵まれたことが施設全体の業績伸長に寄与するなど、業績は引き続き順調に推移しました。ヘルスケア事業におきましては、健康ニーズの高まりから市況は底堅く推移しているものの、需要増に対して製造部門で資材調達に遅れが出たことや、在庫処分などの内向きの活動に時間を要し新規開拓活動が停滞していることなどが響き、売上が伸びず苦戦しました。こうした中、生産性向上への取り組みを強化するなど引き続き製販一体での活動強化に取り組みました。せんい事業におきましては、アパレル業界が徐々に回復していることや、引き続き防衛関係を中心とする官需ユニフォーム業界の動きが堅調に推移したことで、業績は概ね順調に推移しました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は19億19百万円（前年同期比4.0%減）で、営業利益は1億32百万円（前年同期比22.9%減）、支払利息などを加味した経常利益は36百万円

（前年同期比50.7%減）となりました。これに、法人税等調整額を加味した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は31百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、市況の改善を背景に、売上高は前年同期を上回りました。設備更新投資を継続実施したことに伴う減価償却費の増加が響き、営業利益は前年同期を下回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は11億19百万円（前年同期比1.1%増）と増収したものの、損益面では、償却負担の増加が響き、営業利益は4億45百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、底堅いニーズはあるものの、資材の調達遅れのほか長引く猛暑の影響もあり全般に低調で、売上高は前年同期を下回りました。一般寝装品部門につきましては、春物が天候不順の影響で不振となったものの冬物を早く仕入れる動きがありアルパカ毛布などの定番商品が好調で、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、人員減に伴う販売管理費の減少があったものの売上高と粗利率低下が響き、営業損失幅が拡大しました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は4億66百万円（前年同期比13.3%減）で、営業損失は16百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

(せんい事業)

テキスタイル部門につきましては、官需ユニフォームは引き続き順調であったものの、前年同期も好調であったため、結果として前年同期並みに留まりました。プロダクツ部門につきましては、新規案件の受注などはあったものの大口先の取りこぼしが響いて、売上高は前年同期を下回りました。損益面では、プロダクツ部門が横ばいとなったものの、テキスタイル部門では人員増強による労務費アップおよび一部資材コストの上昇を吸収するまでには及ばず、営業利益は前年同期を下回りました。

この結果、せんい事業の売上高は3億33百万円（前年同期比5.9%減）となり、営業利益は8百万円（前年同期比65.6%減）と減益ながら黒字は確保しました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産の状況)

当中間連結会計期間末における総資産の残高は201億88百万円で、前期末比1億51百万円増加しました。その主な要因は、流動資産において、現金及び預金が1億55百万円増加したこと、売掛債権の回収により受取手形及び売掛金が1億13百万円減少したこと及び固定資産において、設備投資3億45百万円や減価償却費2億46百万円などにより有形固定資産が98百万円増加したことであります。

負債の残高は152億96百万円で、前期末比1億83百万円増加しました。その主な要因は、仕入債務の支払により支払手形及び買掛金が67百万円減少したこと、株主優待引当金46百万円を取崩したこと、新規借入4億円及び約定弁済2億90百万円により借入金が1億9百万円増加したこと、リース債務2億63百万円の増加などによりその他が1億74百万円増加したことであります。

純資産の残高は48億92百万円で、前期末に比べ31百万円減少しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益計上31百万円に対して配当金支払90百万円により利益剰余金が58百万円減少したこと、保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が43百万円増加したことであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億69百万円のプラス(前年同期比192.9%増)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益36百万円、減価償却費2億54百万円、株主優待引当金の減少46百万円、売上債権の減少97百万円、仕入債務の減少67百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億円のマイナス(前年同期は79百万円のマイナス)となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出1億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、13百万円のマイナス(前年同期は1億80百万円のマイナス)となりました。これは主に、長期借入れによる収入4億円、長期借入金の返済による支出2億90百万円、リース債務の返済による支出21百万円、自己株式の増加10百万円、配当金の支払額89百万円によるものであります。

これらの各活動の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は11億4百万円(前年同期比20.0%増)となり、前期末に比べ1億55百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年5月8日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	959,664	1,114,746
受取手形及び売掛金	572,866	458,884
棚卸資産	820,792	795,092
その他	51,380	41,376
貸倒引当金	△1,290	△1,120
流動資産合計	2,403,413	2,408,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,387,514	7,249,075
土地	9,267,467	9,267,467
その他(純額)	301,228	538,493
有形固定資産合計	16,956,210	17,055,036
無形固定資産		
のれん	113,664	106,460
その他	6,406	4,918
無形固定資産合計	120,071	111,378
投資その他の資産		
投資有価証券	443,136	510,624
破産更生債権等	83,256	83,256
繰延税金資産	1,914	2,121
その他	108,965	97,091
貸倒引当金	△80,228	△80,228
投資その他の資産合計	557,043	612,865
固定資産合計	17,633,325	17,779,281
資産合計	20,036,739	20,188,262

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	351,682	284,048
短期借入金	581,328	4,356,020
未払法人税等	3,069	19,227
賞与引当金	39,953	41,612
株主優待引当金	46,500	—
その他	700,663	627,784
流動負債合計	1,723,196	5,328,693
固定負債		
長期借入金	8,967,610	5,302,254
長期預り保証金	1,255,809	1,223,391
繰延税金負債	19,154	24,110
再評価に係る繰延税金負債	2,536,636	2,536,636
退職給付に係る負債	313,580	332,962
資産除去債務	71,022	75,026
その他	225,722	473,052
固定負債合計	13,389,534	9,967,434
負債合計	15,112,730	15,296,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	30,466	30,466
利益剰余金	132,531	74,163
自己株式	△33,002	△43,434
株主資本合計	229,996	161,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,022	111,036
繰延ヘッジ損益	15,712	8,205
土地再評価差額金	4,604,723	4,604,723
その他の包括利益累計額合計	4,688,458	4,723,965
新株予約権	5,554	6,973
純資産合計	4,924,009	4,892,134
負債純資産合計	20,036,739	20,188,262

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,000,641	1,919,867
売上原価	1,334,305	1,290,562
売上総利益	666,336	629,304
販売費及び一般管理費	494,404	496,693
営業利益	171,932	132,611
営業外収益		
受取利息	3	25
受取配当金	4,844	9,753
持分法による投資利益	1,121	873
その他	204	364
営業外収益合計	6,173	11,016
営業外費用		
支払利息	102,385	104,911
その他	1,996	2,401
営業外費用合計	104,381	107,312
経常利益	73,723	36,315
税金等調整前中間純利益	73,723	36,315
法人税、住民税及び事業税	6,666	19,227
法人税等調整額	28,683	△14,733
法人税等合計	35,350	4,493
中間純利益	38,373	31,821
親会社株主に帰属する中間純利益	38,373	31,821

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	38,373	31,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,221	43,013
繰延ヘッジ損益	56,469	△7,506
その他の包括利益合計	35,248	35,507
中間包括利益	73,622	67,328
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	73,622	67,328
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	73,723	36,315
減価償却費	243,430	254,763
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△50	△170
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,424	1,659
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△29,000	△46,500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20,207	19,382
受取利息及び受取配当金	△4,847	△9,779
支払利息	102,385	104,911
持分法による投資損益 (△は益)	△1,121	△873
売上債権の増減額 (△は増加)	81,008	97,707
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△46,449	25,699
仕入債務の増減額 (△は減少)	△122,954	△67,633
預り保証金の増減額 (△は減少)	△29,340	△32,418
その他	△96,306	△14,652
小計	192,110	368,412
利息及び配当金の受取額	4,847	9,779
利息の支払額	△104,063	△106,040
法人税等の支払額	△1,011	△3,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,882	269,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△79,182	△100,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,182	△100,601
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△279,037	△290,664
リース債務の返済による支出	△8,072	△21,123
配当金の支払額	△60,582	△89,117
その他	△32,439	△12,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,131	△13,398
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△167,431	155,082
現金及び現金同等物の期首残高	1,087,570	949,478
現金及び現金同等物の中間期末残高	920,138	1,104,560

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項
(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	165,538	538,594	353,998	1,058,131	—	1,058,131
その他の収益	942,510	—	—	942,510	—	942,510
外部顧客への売上高	1,108,048	538,594	353,998	2,000,641	—	2,000,641
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	—	101	329	△329	—
計	1,108,276	538,594	354,099	2,000,970	△329	2,000,641
セグメント利益又は損失(△)	458,653	△8,794	23,286	473,145	△301,212	171,932

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△301,212千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	173,576	466,926	333,231	973,734	—	973,734
その他の収益	946,132	—	—	946,132	—	946,132
外部顧客への売上高	1,119,709	466,926	333,231	1,919,867	—	1,919,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	228	—	—	228	△228	—
計	1,119,937	466,926	333,231	1,920,095	△228	1,919,867
セグメント利益又は損失(△)	445,764	△16,972	8,015	436,806	△304,195	132,611

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△304,195千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当中間連結累計期間において単元未満株式の買取も含めて自己株式が10,431千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が43,434千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。